
そして私は朽ちてゆく

ごら。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

そして私は朽ちてゆく

【Nコード】

N1323A

【作者名】

いじり。

【あらすじ】

兵器になったたちせの想い。

私が兵器になつてから、もうどのくらいたつのだろう。

時間はどんどん過ぎていつて。あの頃の楽しかった時間も、薄らばんやりとしか思い出せない。幸せは突然奪われてしまった。

幸せ？

幸せって何だっただけ？

駄目、思い出せない。

あれ？

駄目、駄目だなあ。全然わかんない。

私、頭悪いから。

ああ、好きな人。

そうそう、好きな人。

好きな人達と一緒にいれた時間のこと。

え？あ、あれ？

え？絶対絶対、忘れちゃ駄目なのに。

やだ、思い出せない。

嘘。

好きな人達、それ何だっただけ？

あれ？

ずきん、

痛い。痛みなんかとうに忘れたくせに。

何だか不思議。心が痛いの。イタイタイと心が泣くの。変なの。

そんなこと、もうどうでもいいはずなのに。

ねえ、最終兵器。

…シュウちゃん。

突然頭に浮かんだ言葉。

しゅうちゃん？

.....。

あ。

…思い出した。少しだけ。

シュウちゃん。

大好きな人の名前。

ああ、そっか。

大好きな人の記号。

シュウちゃんシュウちゃんシュウちゃん。

なんだろ。

名前を思い出したただけなのに、心が暖かくなった。

そもそも、なんでシュウちゃんなんだろ。

シュウ……？

シュウタ、全然違う。

シュウコ、あ、女の子じゃないんだよね。

シュウ………？

『ちよつとシュウジ！』

シュウジ。あ、そうだ。

あれ？この声。

何処かで。

『またちせ泣かせたでしょ！！なまらム力つくねー！あんだ！』

『うっん、いいの、アケミ』

アケミ。あけみ？

『いくない！！やーいシュウジのギロ目ーホソ目ースケベー』

『うるせー！それと！ギロ目でホソ目かも知れねえが、スケベではねえ！！』

あ！！

この声、好きだった。

『ふん！！なにおう嘘つきめが！！』

『ちせちゃん、いつてやれ!!』

『え?えと...』

『ち、ちせ、……こういう時は否定してくれねえか……?』

『あ!ご、ごめんなさい...』

懐かしい。なんだかすごく懐かしい。

声だけしか、思い出せないけれど。

ああ。これだ。これなんだ。

幸せ。大好きな人達。

私なんかを大事にしてくれた。

私なんかに優しくしてくれた。

全て、は思い出せないけれど。

カケラでもいい。もう二度と忘れたくない。

断片だけでいい。お願い消さないで。

人を殺すしか能がない戦闘兵器。

人なんて、殺せば赤くぶちまけるただの肉の塊。そんな風に思うの

はつらいことなど、とうに忘れてしまった。

それが悲しいことだと思いついてくれたのは、

シユウちゃん、あなただよ。

ありがとう、一緒にいてくれて。

ありがとう、愛してくれて。

でも私、戦うね。

あなたを、あなたたちを守るため。

無駄な争いだって、わかってる。

でも、もうとまらない。

あなたがいなくなってしまうのは、とてもつらいから。

あなたがいなくなれば、私はなくなるから。

たとえ、私が私でなくなっても。

ごめんなさい。

最後に、私がいちばんあいするひとへ。

いきてくださいね。

終。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1323a/>

そして私は朽ちてゆく

2010年10月11日03時44分発行